

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所施設管理事務経費			担当部局庁	国立感染症研究所			作成責任者			
事業開始年度	昭和57年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課			猪股 研次			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等							
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	村山庁舎における施設整備の維持管理及び効率的な運営を目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	村山庁舎の施設管理維持、定期点検整備を行う。施設の維持管理を適切に行うことにより、研究所の適正かつ効果的な運営を確保する。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	401	376	424	424	424	0			
	執行額	401	376	415							
執行率(%)	100%	100%	98%								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標最終年度		
	目標値として3.5点以上の獲得を目指す。	毎年行っている研究課題評価の総合点を間接指標として用いる。(27年度の点数はまだ公表していない。)	成果実績	点	4.4	4	集計中	-	28年度	28年度	
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	-		3.5	
			達成度	%	126	114	集計中	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	村山庁舎の受変電設備の定期点検		活動実績	回	1	1	1				
			当初見込み	回	1	1	1	1			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	執行額/受変電設備の定期点検		単位当たりコスト	百万円	401	376	424	424			
			計算式	執行額/国家検定数	401百万円/1回	376百万円/1回	424百万円/1回	424百万円/1回			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	執行額/国家検定数		単位当たりコスト	円	411,704	384,065	450,584	424,000			
			計算式	執行額/国家検定数	401百万円/974回	376百万円/979回	424百万円/941回	424百万円/1000回			
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	庁費	58									
	試験研究費	366									
	計	424	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること									
	施策	国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28年度	目標年度 29年度		
		国立感染症研究所における研究課題評価(毎年度実施)において3.5点以上の獲得を目指す。	実績値	点	4.4	4	集計中				
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	国立感染症研究所村山庁舎における電気設備、機械設備及び給排水衛生設備等について正常な運転を維持管理することで、研究業務等の安全かつ円滑な実施に資するもの。										
	改革項目 (第一階層)	分野:	-								
		KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
目標値		-	-	-	-	-	-				
	達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要	項目	評価									評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○									保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○									感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○									国民の健康を守るために必要な試験研究等の実施に必要な施設の維持管理であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○									
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有									一般競争入札の実施や契約金額が少額であっても見積もり合わせの実施により、競争性を確保している。庁舎設備保守等に係る調達の一部については1社応札となったが、次年度の調達においては、応札条件の緩和を検討し、3庁舎で広く公告するとともに、類似契約における契約業者へ声掛けを実施する等、競争性をより一層確保したい。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-									
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○									少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-									
	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○									事業の適切な遂行に必要な使途に限定し執行している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-										
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○									少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-									
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-									
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○									事業計画時に見込んだ内容を概ね達成できている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○									感染症に関する研究事業を行う上で、十分に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○									当該事業は、村山庁舎の維持管理に係る経費を扱う事業である。国立感染症研究所施設整備経費は、村山庁舎の災害対策のために、庁舎に通じる経路を整備するための一時的な事業のため、役割が異なる
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	厚生労働省国立感染症研究所	919	国立感染症研究所施設整備費								
点検・改善結果	点検結果	村山庁舎に設置された電気設備、機械設備及び給排水衛生設備の運転と正常な運転を維持するために必要な点検、整備、監視並びにその他関連設備の維持に必要な業務を行っている。27年度は、国家検定数の減少、また、経年経過による庁舎設備の修繕、交換等が増加しており、単位当たりコストの増加がみられるが、引き続きコストの削減に努め執行額を抑制する。									
	改善の方向性	保守点検業務等は会計法に基づき原則一般競争入札により発注しているが、維持管理計画を短期・中期・長期的に分けて検討し、より計画的な発注方法を検討する。									

